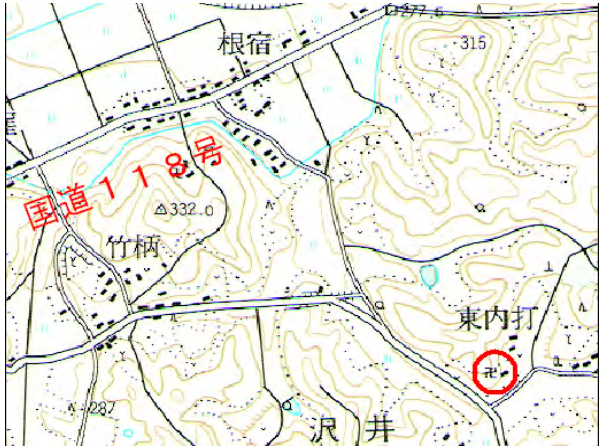





石川町資源調査調書

通し番号	27	整理番号	3 - 001	作成	平成19年2月
名称	テンダイシュウ ヨウジョサン アンヨウジ (ヒョクサンハ) 天台宗 養壽山 安養寺 (比叡山派)			項目	寺院
管理	住所	石川町大字沢井字東内打305			
	連絡先	TEL 0247-26-0005			
	管理者及び所有者	現住職 大滝祐弘 (第五十七世)			
概要	<p>本山 天台宗比叡山延暦寺 (比叡山派) 本寺 茨城県黒子村 (干妙寺) 本尊 五大尊明王「不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王」 開山・開基 興勝僧正 開山年 貞観15年 (873年) 宗祖 伝教大師最澄</p> <p>当寺は、寺伝によると「貞観15年2月比叡山第四祖慈覚大師円仁大和尚が東下りの折、この地方に悪疫が流行し土民が大変難儀している様を見てこの地に留錫し・五大尊明王を刻みて祈願したところ衆病悉く平癒した。為に土民帰依により一宇を建設し五大尊明王を奉安し観行院と号した。大師は時の国講師興勝僧正に第一世を譲り東北に向かって飛錫した。」と伝えられている。</p> <p>明治19年旧2月23日の火災にて本堂及び古い記録等悉く焼失してしまったので詳細な由緒・沿革については詳らかでない。</p> <p>歴代の主な住職の中で言い伝えられている事績は、天正年中(1580年前後)磐城国中山寺僧亮高が住職となり現在の地に堂宇を建立し、養壽山安養寺と号し如意輪観音(現存)を本尊とした。その後尊栄和尚(1690年前後)住職となり、比叡山正観院主権大僧正亮頼大和尚より沢井社の額面を拝した。また郷土神乳母神を奉納し、和泉式部の産湯に使ったと言い伝えられる沢井清水の霊蹟を明彰した。</p> <p>安永年中登俊大和尚(安永8年1179年遷化)新屋敷常光寺を建立し「遷化の砌り己が舍利の上に石地藏尊を安置すれば、村内勿論永く女人の安産を守護する」と宣言した。今でも「新屋敷安産地藏様」として参詣人が絶えない。</p>				
参考文献	石川地方寺院めぐり(非売品)				
関連項目	安養寺の桜 (1-007) 安養寺の清水 (22-001) 安養寺の石造塔婆 (5-007)				
備考					
写真及び位置図等					
					
全景			位置図		

石川町資源調査調書

通し番号	28	整理番号	3	-	002	作成	平成19年2月
名称	<small>シンゴンシュウ チサンハ ジョウミョウザン カンショウジ</small> 真言宗 智山派 浄明山 観照寺				項目	寺院	
管理	住所	石川町中田字大塚309					
	連絡先	石川郡玉川村南須釜字久保宿70 TEL 0247-57-2180					
	管理者及び所有者	現任職 縫昌弘（第三十七世）					
概要	本山 総本山智積院、大本山新勝寺、大本山平間寺、大本山薬王寺 本尊 大日如来 開山・開基 祐全 開山年 元禄15年（1702年）11月15日創建 宗祖 弘法大師、興教大師 当寺は、祐全上人全国巡錫の砌当地に錫を留め、善男・善女の帰依を得て、元禄15年本堂を建立せれる。 当山は、中田区の菩提寺として、はたまた祈願所として信仰せられる。明治初年石川町、乗蓮寺の末寺となり開山祐全より法灯を継承現在に至る。						
参考文献	石川地方寺院めぐり(非売品)						
関連項目							
備考							
写真及び位置図等							
							
全 景				位置図			



石川町資源調査調書

通し番号	29	整理番号	3	-	003	作成	平成19年2月
名称	<small>ニチレンシュウ フクジュザン キョウオウジ</small> 日蓮宗 福聚山 経王寺					項目	寺院
管理	住所	石川町大字塩沢字大日向69～7					
	連絡先	TEL 0247-26-0309					
	管理者及び所有者	現任職 中田本庸（開山）					
概要	<p> 本山 総本山 身延山久遠寺 本尊 南無久遠実成本師釈迦牟尼佛 開山 慈眼院日謙 開山年 昭和59年5月19日 開基 慈讓院妙忍日雅法尼（昭和22年10月7日開創） 宗祖 日蓮大聖人 </p> <p> 当寺は昭和22年10月7日、開祖慈讓院妙忍日雅法尼石川郡石川町北町138番地に居をかまえ、安積山法久寺布教所として道場を開かれてより始まる。妙忍師布教活動に精進すること20有余年、昭和44年7月23日、同布教所を中田妙待師教導となり日蓮宗妙忍結社を設立する。 </p> <p> 昭和48年同結社建物老朽化に伴い、同年3月新築、同年6月11日、現任職中田本庸主管となり日蓮宗妙忍教会を設立、昭和51年11月1日、現任職総丈三尺三寸檜材大黒尊天像（東京浅草・木村鶴光作）を造立し、日蓮宗大荒行堂に三度加行、大黒相承を伝授され、以後奥州石川大黒天として信仰を篤む。 </p> <p> 昭和58年本堂建立を発願し日蓮大聖人尊像（総丈五尺楠材・東京浅草・木村鶴光作）を造立し、同年11月1日より百日間日蓮宗大荒行堂に4度目の加行を果たし、行中尊像を入魂開眼す。 </p> <p> 昭和59年5月石川町大字塩沢字大日向69～7番地内に本堂を建立し、福聚山経王寺と寺号を公称する。平成7年11月庫裡・客殿を新築現在に至る。 </p>						
参考文献	石川地方寺院めぐり(非売品)						
関連項目							
備考							
写真及び位置図等							
							
全 景				位置図			

石川町資源調査調書

通し番号	30	整理番号	3	- 004	作成	平成19年2月
名称	リンザイシュウ ヨウゲンザン ケソウジ 臨濟宗 高巖山 華蔵寺			項目	寺院	
管理	住所	石川町字下泉242				
	連絡先	TEL 0247-26-3388				
	管理者及び所有者	現住職 竹貫知孝 号文暝（第十九世）				
概要	<p>本山 大本山妙心寺 本尊 釈迦如来 開山 仏国国師 開山年 正和五年（1316年）10月20日</p> <p>正和5年10月20日仏国々師により開山された。慶安年中（1648年～1651年）雪門老師が再建のため巡錫し、伽藍が再興された。 その後当寺は2度の火災に遭ったと伝えられている。又、相当長い間無住職になり荒廃のままとなり過去帳や歴代住職などを記録したものは残っていないが、大正13年12月14日竹貫正宗法山大和尚が住職となり復興した。 当寺の三時回向（大正3年12月作成）の中に71名の前住が記載されているのは毎日の供養のため寺の住職名が書かれていた。 本釈迦如来像は二体有り一体は明治35年4月愛知県名古屋市末広町の京仏師亀井鉄太郎義門の銘があり、もう一体は平成元年5月27日東京都新宿区西早稲田の仏師先崎直紀氏の作である。他に達磨大師像（長禄3年4月）と永禄2年雲慶の作と伝えられている開祖像がある。 石段を登り切ると左側に境内があり、奥に本堂、右側に池、その中島に仙道十七番札所の南無大悲観世音菩薩がまつられ、その右側に庫裡がある。又、本堂の左側には善光寺堂があり、明治35年信州善光寺役僧の許可により本尊の写し釈迦三尊像が安置され、その正面には昭和52年9月に町指定の文化財に指定された銅鐘がある。これは、延宝8年（1680年）5月雪門の法学禅眼のとき栃木県佐野市の三木喜左右衛門作と銘がある。</p>					
参考文献	石川地方寺院めぐり（非売品）					
関連項目	華蔵寺の銅鐘（5-012）					
備考						
写真及び位置図等						
						
全 景				位置図		

石川町資源調査調書

通し番号	31	整理番号	3 - 005	作成	平成19年2月
名称	ソトウシヨウ キンスザン 光國寺 曹洞宗 金子山 光國寺			項目	寺院
管理	住所	石川町大字曲木字仲の内147			
	連絡先	TEL 0247-26-2253			
	管理者及び所有者	現任職 長谷川信光（第廿九世）			
概要	<p>本山 大本山 永平寺（福井県）、大本山 総持寺（横浜市） 本尊 地藏菩薩 開山 顕室文助大和尚（長泉寺九世） 開山年 永録四年以前（開山示寂年の故） 開基 曲木城主初代 石川舎光公 開祖 曲木城主二代 石川祐光公 教祖 永平寺道元禅師、総持寺瑩山禅師 現在の当山の開創年は不詳なるも、当寺備付最古の過去帳の序文の次に 長泉寺九世当寺開山顕室文助大和尚（永禄四辛酉年八月初二日示寂） 当寺開基、光國寺殿金翁源英大居士石川左衛門大輔舎光 全、金子院殿龍翁定休大居士石川常陸守祐光 と記されており、開基石川舎光祐光は曲木城主初代二代城主で、三代安光四代信光が父祖父 の菩提を弔う為、今より一千年前に建立された和泉式部の一族の菩提寺である。古寺跡の金子 山光國寺を改宗して長泉寺九世を招聘して開山した寺が、現在の曹洞宗金子山光國寺である。 その後、境内地が狭隘の為元禄年間に、現在地に移転したが、その折に敷地等の土地の寄進 者を「七揆の謂れ」と稱して、現在まで伝えられている。 〈由緒〉（七揆の謂れ） 当寺由来縁起による。古寺跡地に一千年前建立された。光國寺を約五百年後に曲木城主の菩 提寺としたが、三世大船和尚代に境内狭隘と建物老朽化の為、現在地に移転した。その敷地等 の土地の寄進者の法号を改め位牌堂の最上段に安置して、その徳力を賞して七揆と稱し今日ま で伝えられ、その碑文が本堂西側台地の鎮守地祠の傍にある。</p>				
参考文献	石川地方寺院めぐり(非売品)				
関連項目	光國寺のイチョウ（2-005） 和泉式部（8-002）				
備考					
写真及び位置図等					
					
全景			位置図		